



滋賀短期大学 学報

2013. 12. 1

No. 74

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 広報・図書委員会 電話(077)524-3605

ホームページアドレス <http://www.sumire.ac.jp/tandai/>



第44回 純美禮祭



「睡眠の日」をご存じですか？

滋賀短期大学学長 佐藤 尚武



睡眠の日は、2011年に財団法人精神・神経科学振興財団にある睡眠健康推進機構によって年に2回制定されました。春の睡眠の日は3月18日で、秋の睡眠の日は9月3日です。睡眠の日の前後1週間は「睡眠健康週間」として設定され、メディアを通じて睡眠の啓発が図られたり、睡眠関連イベントが開かれているものの、まだまだ浸透していないように思われます。国際的には、3月18日が世界睡眠学会連合会により定められた睡眠の日であって、欧米諸国の多くはすでに10年前から取組が始まっており、日本は遅れている状況にあります。

睡眠の日が設定された背景には、睡眠は個人の健康問題にとどまらず、社会的にも大きな問題となっているからです。実はこの50年近くの間、日本人の睡眠時間は1時間近く短くなり、夜型化の傾向が強まっています。最近の調査では、働く世代の3人に1人が睡眠に何らかの問題を抱え、よく眠れないという人は5人に1人、睡眠薬の使用は20人に1人とされています。寝不足になると、睡眠負債という借金を背負ってしまいます。この負債を長期にため込んでしまうと、体調を崩し、やがて病気につながるようになります。このような睡眠不足による社会的損失は、我が国では年間で3兆円を超えると試算されています。

睡眠の研究が進み、その役割が明らかになるにつれて、健康にとって睡眠がきわめて重要であることがわかってきました。これまでの睡眠に対する評価はかなり低く、極端な場合には無駄な時間とみなされてきましたが、それが一転して、無意味どころか、きわめて有用であると認識されるようになってきました。私たちの高度に発達した脳は、眠ることによって覚醒時に最大限に機能を発揮することが可能となります。眠りは翌日のよりよい活動のために脳を休め、体を準備するという巧妙にプログラムされた生理機構なのです。したがって、単に疲れをとるというだけでなく、その間に組織の増殖や修復を図り、日中に学習したことを整理しています。つまり、記憶の向上や運動技能の習得には十分な長さの睡眠が不可

欠なのです。例えば、全国学力・学習状況調査によると、国語や算数(数学)の正答率は一定の睡眠量がある児童・生徒で高く、睡眠時間が短くても長くても正答率が低くなっています。眠ることによって賢くなるのです。また、眠ることによって上手になるのです。成長期の子どもにとっての睡眠の大切さはいうまでもありませんが、このことは子どもに限ったことではありません。

ところで、産業の高度化に伴う24時間社会では、文明の象徴ともいえる人工光によって、自然環境とは異なった明暗サイクルで生活する機会が増えています。このような生活環境では体内リズムが乱れ、正常な睡眠がとりにくくなっています。特に、シフト勤務が増えている現状では、交代勤務者の健康問題が新たな課題となっています。最近の研究では、交代勤務の経験年数に比例してうつ病になる率が高まり、心臓病のリスクが増大するなどが指摘されています。また、睡眠不足になると、ホルモンのアンバランスが生じて肥満になる機序が明らかになり、生活習慣病の予防には適切な睡眠の確保の重要性が指摘されています。

このような状況もあって、睡眠への関心が高まっています。これほどまでに睡眠に関心を寄せたり、悩んだりした時代は、過去にありません。例えば、よく眠るためのハウツー本、眠りに良い寝具やパジャマ、寝つきの良くなるアロマ、薬局で購入できる睡眠薬(睡眠導入剤)など、快眠産業は2兆円以上と試算されています。一方では、健康や睡眠に関わる情報の氾濫があります。睡眠の大切さが正しく理解されればよいのですが、科学的な情報を安易に拡大解釈し、睡眠を思い通りに操作できるとするような間違った情報がみられるようになってきました。そういう正しくない情報に、私たちは惑わされるようになってきている側面もあるのです。

いずれにしても、睡眠は、身体の中核である脳を育て、守り、修復する大切な役割を担っています。現代の睡眠不足は、個人の健康のみならず、経済活動から社会生活、子どもの学力にまで社会の幅広い分野に影響を及ぼしています。睡眠教育に携わって10年になりますが、睡眠の科学的知見が明らかになるにつれ、経済発展や学歴社会の中で軽視されてきた睡眠が、健康や社会の発展を考えるうえで大きなカギを握っているように思われます。

観光系インターンシップ

ビジネスコミュニケーション学科 准教授 末澤 亜矢子

ビジネスコミュニケーション学科では、平成26年度から新設予定の観光類型でとり入れられるインターンシップの実施に備え、観光の分野での就職を希望している学生を対象として「観光系インターンシップ」を7月18日に実施しました。このインターンシップは学生が日帰りツアーに参加し観光業界で就職する場合に必要な知識を旅行会社の方にご指導いただくものです。旅行会社の添乗員の仕事の厳しさや、やりがいなど多くのことを体感し、ここでの学びを学生自身の将来に活かすことを目的としています。株式会社日本旅行西日本営業本部おもしろ旅企画ヒラタ屋代表の平田進也氏の御協力のもと、今年度はビジネスコミュニケーション学科ホスピタリティビジネスコース I 回生の木下愛さんと原悠里子さんの合計2名がグランフロント大阪の楽しみかたを知るツアーに参加しました。また、このツアーでは、CRKラジオ関西のラジオ番組「ヒラタ屋本舗！おもしろトラベル」のパーソナリティを勤める木谷美帆氏のお誕生日をお祝いしながらのお食事会も開かれました。

ツアー当日、平田氏が学生に伝えてくださったことは、平田氏がお仕事をする姿をじっくりと見て学んでくださいということでした。学生達はツアー参加者の誘導など、お手伝いを少しさせていただきながら、「ツアーを記憶に残るエンターテイメントとして考えることがひとつのおもてなしの方法である。」ということに気づかされた様子でした。また、平田氏とツアーに参加されたお客様達との打ち解けたコミュニケーションは、お客様一人一人と築き上げた堅い信頼関係があってこそ成立するものであると感じたようです。

平田氏はツアー終了後もお客様を笑顔に導くホスピタリティの精神や観光業界で働くための心構えを丁寧に学生に御指導してくださいました。学生達それぞれがこのインターンシップで多くのことを学び、これまで以上に観光業界への就職意欲を高めたようです。

本年度の「観光系インターンシップ」に御協力をいただきました株式会社日本旅行西日本営業本部おもしろ旅企画ヒラタ屋の平田進也代表をはじめ、関係諸氏の皆様に心より御礼申し上げます。



給食経営管理學外実習を終えて

生活学科 食健康コース（栄養士養成課程）2回生 北河 紗季・鳥居 真優

夏休みの間に5日間、栄養士資格取得のために給食経営管理學外実習として陸上自衛隊今津駐屯地に行ってきました。実習に行く前は不安と緊張でいっぱいでしたが、行ってみると栄養士さん、調理員さん、隊員さんがとても優しく、丁寧に指導してくださいました。

実習では、調理作業や盛り付け、配食などを体験しました。毎食200～300食を調理するため、学内での給食実習の100食調理とは違う経験がたくさんできました。食数が多いので大量調理機器類がすべて大きくてびっくりしました。調理作業では回転釜を使い味噌汁や炒め物、カレーなどを作りました。ここで混ぜ方や食材を入れるタイミングなどの大量調理のコツを学びました。盛り付けでは見栄えよくおいしく見えるような盛り付け方を指導していただきました。自衛隊給食は、日々訓練している隊員さんを対象としています。実習中、私たちも昼食をいただきましたが1食がとても多く、全部食べることができませんでした。とてもおいしかったです。

この実習を通して、栄養士の仕事の大変さややりがいを実感することができました。改めて、栄養士になりたいという気持ちが強くなりました。学外実習で学んだことを、今後に生かしていきたいと思えます。



栄養教諭教育実習報告

生活学科 食健康コース（栄養士養成課程）2回生 久保 明美

ゴールデンウィーク明けに、実習前の全体オリエンテーションがあつてから4か月。まだまだ準備には時間があると上辺は余裕を見せていましたが、実際はもうその時から自分の中で教材研究を始めていました。どうすれば子ども達の心を掴めるか、どう説明すれば理解しやすいか、与えられた教科書を眺める日が続きました。7月中旬、ようやく授業をする単元が決まり、指導案作成・教材製作。教壇に立つ教師とその授業を受けている子ども達の両方に自分を当てはめ、先生方からのご指導やアドバイス、そして同じ実習メンバーからの意見を参考に、とにかく自分にしかできない子どもたちの心に残る授業をしようと、必死に授業を研究しました。1校時だけの授業でどこまで子ども達の心や行動を変えることができるか、狙いを外さない授業づくりに苦労しました。

実習3日目、いよいよ教壇に立ちました。緊張で声が震え、頭が真っ白になるかと不安でしたが、子ども達のキラキラした

眼差しと笑顔に勇気をもらい、自分でも驚くほど落ち着いて45分間の授業を自信を持って行うことができました。

子どもたちの目線に立つことは非常に難しいことですが、なぜ？なぜ？なぜ？と純粹に掘り下げていけば、必ず見えてくるものがあります。大人になって、忘れかけていた純粹さ、そして好奇心、ワクワク感。この実習を通し、教える側として一番大切なものを学ぶことができたと思います。また改めて、栄養教諭になるためには、まだまだ自分の知識不足を痛感しました。子ども達が置かれている食環境を少しでも良いものに変えることができる栄養教諭を目指し、これからも日々努力を重ねていきたいです。



幼稚園実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 緩詰 佳苗

9月の幼稚園実習では、年少（3歳児）クラスで実習をさせていただきました。14名の子どもたちを前に、手あそび・絵本・紙芝居・素話・ペープサート・歌唱指導・設定保育（運動あそび・製作）、そして1日実習と本当にたくさんの貴重な経験ができた、楽しく充実した2週間でした。

子どもたちと「何をして遊ぶのか」「何の絵本を読むのか」と毎日一生懸命考えるのですが、その際一番難しいと感じたのは、本や雑誌の内容をそのまま実践しようとしてもなかなか上手くいかないということでした。そこで目の前の子どもたちの様子を観察したり、先生方にアドバイスをいただいたりしながら、今子どもたちは何が出来るのか、どんなことに興味を持っているのかを考えて指導案を作りました。

歌唱指導では時間が長くなりすぎて子どもたちが飽きてしまったり、素話では話したいざかりの子どもたちが口々に話し始め、收拾がつかなくなってしまうと失敗の連続でしたが、それだけに一日実習を無事終わられたことはとても大きな自信になりました。新聞あそびをして大きな

トトロを作り、園庭でトトロとかくれんぼをして遊んだのですが、一生懸命トトロを探し、見つけた時の子どもたちの笑顔は忘れられません。

学生生活も残すところわずかとなりました。この度の実習で学んだことを生かし、さらに学びを深め、子どもたちからたくさんの笑顔を引き出させる保育者を目指したいと思います。



保育所実習を終えて

幼児教育保育学科 2回生 松本 貴弘

私にとって保育実習は、改めて保育の難しさと、その楽しさを感じることであった。今回、1歳児から5歳児のクラスに入って実習させていただきました。幅広い年齢と関わることで発達の違いなどがよく分かり、どうすれば子どもに思いが伝わりやすいか、どうすれば子どもの思いを引き出せるか、年齢によっても様々なので、年齢に応じた関わりを深く考えることができました。

実習中、実習生という反面、子どもや保護者から見れば同じ園で働く「先生」であると思うと、とても責任あるものだと思います。実習先には男性保育士が複数名おられ、園の先生は、保育所を利用する父親のモデルになれるよう意識していると話を聞き、男性ならではの役割も学ぶことができました。

私も父親の子育てのモデルになれるよう意識して保育し

ていきたいと思い、そのためにも、残り少ない学生生活でしっかりと勉強をしておきたいと思います。



第47回全国私立短期大学体育大会

全国私立短期大学体育大会（全短）が8月に開催されました。本学からはバスケットボール部、バレーボール部、バドミントン部、ソフトテニス部が参加し、多くの部門で上位入賞を果たしました。

- バスケットボール部（女子） 第3位
- バレーボール部（女子） ベスト16
- バドミントン部（女子）
 - 団体 準優勝
 - ダブルス 優勝 荒井秋穂(幼教2)・松尾 遥(ビジ2)ペア
3回戦 山内美穂(幼教1)・清水真緒(生活1)ペア
 - シングルス ベスト8 木村友都(幼教2)
ベスト8 田中美江(生活2)
- ソフトテニス部（女子）
 - 団体 優勝
 - ダブルス 優勝 本道綾乃(ビジ2)・廣田美咲(幼教2)ペア
第3位 小川玲保(生活2)・白井優奈(ビジ2)ペア
第3位 西村奈穂(幼教1)・岩井明日香(幼教2)ペア



バスケットボール部

キャプテン **中井 梨恵** (生活学科 2回生)

今年度の全国私立短期大学体育大会に向け、チームとしては前年度果たすことが出来なかった”全短優勝”・”日本一”という目標を掲げて日々の練習に励んできました。準決勝で昨年度優勝校の奈良文化女子短期大学に敗れ、第3位という結果で終わりました。準々決勝の千葉敬愛短大戦では4人の負傷者を出してしまいました。チームとして万全の状態では準決勝を戦うことが出来ず悔しい思いをしました。しかしながら2回戦の和泉短期大学戦では全員出場・全員得点をはたし149対36で大勝しました。チーム一丸となって戦うことができた試合でした。大会の目標を達成することはできませんでしたが様々なことを学び、成長できた大会となりました。この経験を8月末から始まる関西2部リーグ戦に生かしていきたいと思っています。



バドミントン部（一同）

残念ながら、団体、ダブルス、シングルの完全制覇ができませんでした。今大会を通じて感じた各自の課題をクリアして、来年度こそ完全制覇を成し遂げます！



ソフトテニス部



第44回純美禮祭

2013年11月2日・3日



『Sumire road～みんなで歩む道～』というテーマのもとに作り上げた第44回純美禮祭は、あっという間に終わりを迎えていました。

今年も純美禮祭実行委員会を中心に準備を進め、成功のうちに終えることができました。ご協力いただいた皆様には、心から感謝いたします。

今年は、テーマにもある『みんなで歩む』という言葉大切に、ひとりで仕事を負担するのではなく、実行委員会全員で仕事をするということを意識し、役割分担しながら協力して純美禮祭に向け準備を進めました。その中で私は、実行委員会メンバーの前向きで明るい雰囲気を感じ取りました。本番が近づくにつれだんだん忙しくなり、放課後遅く残ることも多くなりました。しかし、作業を行っていた自治会室はとても賑わっていました。どんなに大変な仕事も、忙しい状況も、実行委員会のメンバーで励まし合い、楽しみながら作業していた印象があります。そんな良い雰囲気で迎えた純美禮祭は、とても充実した時間だったと感じました。タイムスケジュール通りに進まなかったり、2日目は雨が降ったりもしましたが、その度に、教職員の皆様のお力を借りながら乗り越えることができました。純美禮祭に来てくださる人たちに、少しでも楽しんでもらえるようにと頑張った2日でした。

純美禮祭を通して感じたことは、当たり前なことですが、ひとつの大きなイベントを成功させるには協力と準備が大切であるということです。実行委員会のメンバー、教職員の皆様、そして快く協賛して頂いた広告主の皆様、また地域の方々など、多くの方々の協力の元に準備を進めることができました。本当にありがとうございます。また、純美禮祭を通して関わりのある仲間も増え、貴重な時間を共に過ごすことができました。これらの出会いや経験は、この先の人生でかけがえのない財産になると、今、実感しています。

今年のテーマには、『先輩方が創り上げた伝統を受け継いで歩む』という意味も込められています。来年以降、後輩たち



には伝統を受け継ぎながら、今まで以上に良い純美禮祭になるよう頑張ってくださいと思います。この歴史ある純美禮祭が、未来永劫ずっと続くことを祈っています。

第44回純美禮祭実行委員会

委員長 池田 愛里

(幼児教育保育学科2年生)

平成25年度 美しい日本語コンクール

テーマ：近江文化を通して、美しい日本語を学ぶ



国語の基礎学力向上と図書館利用推進を目指す“美しい日本語コンクール”は、今年も近江文化をテーマに開催されました。最優秀者へは、11月2日の純美禮祭の開会式にて、佐藤尚武学長より、表彰状および副賞が手渡されました。

審査員【朗読部門】長谷雄一先生 清水たまこ特任教授

【読み聞かせ部門】小野 清司短大附属幼稚園園長 手良村昭子准教授 安井恵子特任准教授

【エッセイ部門】今関信子先生 實生輝先生

【朗読部門】入賞者

最優秀賞

曾我 舞香（ビジ2）「閃光スクランブル」

学長賞

酒巻 香（ビジ1）「たんぼぼ娘」

優秀賞

杉野 円香（幼教1）「西の魔女が死んだ」

【読み聞かせ部門】入賞者

最優秀賞

白神 幸（幼教1）「だいじょうぶ だいじょうぶ」

園長賞

内田 麻衣（幼教2）「いいから いいから」

優秀賞

小山 高介（幼教1）「おかあちゃんがつくったる」

澤 麻綾（幼教2）「パパのおしごとはわるものです」

豊田 志帆（幼教2）「ねんね」

松村 幸美（幼教2）「みずいろのながぐつ」

生活学科長賞

回溯 光真（生活2）「めざめのもりのいちだいじ」

幼児教育保育学科長賞

青木 里穂（幼教2）「中をそうぞうしてみよ」

ビジネスコミュニケーション学科長賞

大橋明日香（ビジ1）「ジャックとまめのき」

【エッセイ部門】入賞者

最優秀賞

高橋いづみ（生活1）「世界に誇るガリ版」

図書館長賞

松宮 加奈（ビジ1）「琵琶湖を守りたい」

優秀賞

緩詰 佳苗（幼教2）「狸と言えば・・・信楽狸」

川村 綾華（幼教2）「歴史に残る街、近江八幡」

北浦 愛美（幼教1）「近江水の宝」

市川ひかる（生活2）「古くから愛されるお多賀さん」

奥出 麻実（ビジ1）「近江文化について」

村田 京香（幼教1）「八幡掘が伝える近江文化」

前野 友稀（ビジ2）「斎王群行について」

ダワードルジ ムンフテンゲル（ビジ2）「びわこ花火大会」

真田 樹南（幼教1）「近江文化の愛すべきあの子」

福田 真結（幼教1）「水のふるさと 近江に生まれて」

栗原 希実（幼教1）「近江の人を求めて」

エッセイ部門最優秀賞作品

「世界に誇るガリ版」

生活学科1回生 高橋 いづみ

私が生まれ育った旧蒲生町、現在の東近江市蒲生は多くの山々に囲まれ、田畑や森林が延々と続いている緑豊かな地域です。バスや電車はほぼ一時間に一本であるため、主な交通手段は自家用車、スーパーやコンビニも数件しかありません。一見「何もない」ように思われる蒲生ですが、明治時代には一大革命を引き起こした親子がいました。

蒲生岡本町の集落の中の細い道路を進んで行くと古い水色の小さな洋館があります。この建物はガリ版伝承館と呼ばれ、滋賀県出身の父堀井新次郎元紀と子の堀井新次郎仁紀により発明された、ガリ版やガリ版で刷られた作品が展示されています。ガリ版とは謄写版のことで、コピー機が普及する前に用いられていた印刷機のこと、原紙を鉄筆で傷つける時にでるガリガリという音から、ガリ版という愛称で親しまれていました。

小学校での学級活動や、地域の行事では私は何度も訪れたことがあり、ガリ版の原理や堀井新次郎親子について学びました。何年も前のことですが、毛筆で一枚一枚手書きの時代から、原版を一枚作製すれば容易に大量に印刷物が刷れる時代へと大きく進歩させた偉大な二方には、幼いながら感心していたことをよく覚えています。ご存じ、ジブリ映画「コクリコ坂から」の一場面でも描かれており、蒲生の地から全国へ広まり、多くの学校や新聞づくりで役立っていたことが伺えます。

現代、日本を含む先進国ではコピー機が使われていますが、アフリカやアジアの小学校では、電気が不要で持ち運びも可能というメリットを生かして、今でも使われているそうです。近江の地で生まれ、世界で今なお用いられているガリ版の技術を私は誇りに思います。そして、さらに多くの人に知ってもらうため、ガリ版伝承館に訪れる人が増えることを願っています。

◆實生輝氏講評

あまり知られていない地元の文化を調べて書くことにより、他の学生たちに興味、関心を持たせることができた。

私の青春時代

青春時代って????、!!!!

幼児教育保育学科 教授 越智 純子

「私の青春時代」をテーマにとご依頼をいただきました。そこでふと考えたのです。「青春時代」とはいつのことだろうか。若い時?何歳ぐらいでしょう?高校生?大学生?クラブ活動に打ち込んだ時?初恋時代? 考えると何かなんだかわからなくなりました。

「夕陽に向かって『ばかやろう』と叫びながら走った」記憶はありません(この話がわかるのはかなりの年輩かと)。でも、それなりに学園祭で盛り上がったり、友人と夢中で恋や将来を話したり、失恋に打ちひしがれた記憶はあります。親との対立も、学校が嫌になったことも、家出を考えたことも、進路にうつうつとした時期もありました。ひとつひとつが私の人生の一コマであり、どれか一つだけを青春の記憶として取り上げることができな

いのです。

こんなことを考えている中で、その一コマを自分はどんなふうにご過ごしていたのだろうかと思いかえしてみました。一言でいえば「夢中」あるいは「一途」です。ほかのことは何も考えず、今思えば無駄と思えることでも、ただそれだけに「夢中」になり、「一途」に突き進む!!、そんなご過ごし方でした。年齢を経た今は何をすることも、いろいろなしがらみや損得勘定がどうしても加わってしまっているように感じられます。それは「成熟」という言葉で表されるものかもしれません。

今となっては、もう戻れない「!!!!」の時期、それが私の青春時代です。

私たちの青春時代

図書館係長 丸谷 知子

この写真を見て懐かしいと思われた方はいらっしゃるでしょうか。私とともに写っている仲間は元職員の方々です。縁があり、初めて海外旅行にこのメンバーで行きました。カナダの大自然の中を鉄道での横断、ナイアガラの滝見物とすべてが新鮮でした。そのなかで一番印象に残ったのは、モントリオールのお土産センターでのことです。観光客が入り乱れる中マゴマゴしている私は後ろから突き飛ばされて、ショーウインドに激突。幸いガラスは割れなかったのですが、後ろで大声でわめき散らす声。

(どーしょう)怖くて、私はショーウインドに張り付いたまま振り向くこともできませんでした。(はやく、立ち去ってくれないかなあ)と固まっていたところ、私の肩に急に手がかけられ強い力で反転させられたのです。そこには上品な初老の白人の御婦人。大声でわめき散らしていると思ったのは、「Sorry Sorry」と謝罪されていたのです。初めての海外旅行で知ったのは異文化とのコミュニケーションでした。

今回、「私の青春時代」という記事を書くこととなりました。以前に執筆された先生方も書かれていましたが、

「青春」て何…。その疑問とともに、取りあえず過去の写真を探すことにしました。やはり、学生時代の写真が相応しいと思ったのですが、少し暗いかなあ。そして、出てきたのがこの写真です。「私の青春」ではなく「私たちの青春」でもよいかあと思い、拡大解釈のもとこの写真を選びました。

暗いだけの青春もあれば、輝ける青春もある。

「Sorry」と「Thank you」の言葉をそえて…。



新入職員あいさつ



一緒に未来へ羽ばたこう

生活学科 特任助手 石井 和宏

この9月から、生活学科で助手を務めることになりました石井和宏です。

皆さんが考えている将来の夢(目標)は何でしょうか。どんなことを目指していますか。もう決まっている人も、悩んでいる人もいます。

私は、目標はたくさんあっても良いと思います。悩んでいる人も、やるべきこと(目的)を見つけ

たときは、精いっぱい努力をし、もっとこうすれば良かった等、反省点や改善点を見つけてることが大切です。そうすれば、新しい目標も見えてくると思います。

皆さんが、目標にむけて、充実した学生生活を送れるよう、しっかりサポートしていきたいと思っています。

保健室だより

学生支援課 保健室 平田 綾子

保健室の出入口ドアを少し開けていると、ドアの隙間からチラッと覗いて入ってくる人が毎日たくさんいます。私の「どうしたん？」の問かけから会話が始まります。来室の理由は、体調不良・けが・体に関する相談が多いですが、お昼ご飯を食べに来た・イライラする気持ちを落ち着けるため・最近の自分の様子を報告するため・椅子に座り急に泣き出す人もいます。様々な理由で来室した人たちの話を聞いていると、みんなそれぞれにいくつものストレスを抱えていることが伝わってきます。

人間は生きている限り、何らかのストレスを受け続け、ストレスを「ゼロ」にすることはできないそうです。ということは、ストレスを感じた時にうまくストレスを軽減したり・解消するための「自分流ストレス対処法」を身に付けていなければ、ストレスはどんどん溜まっていくこと

になります。さらに、溜まりすぎたストレスによって、イライラして落ち着かなくなったり、1つのことに集中できなくなったり、夜眠れなくなったり、食欲がなくなったり、頭痛や腹痛や下痢や便秘など様々な症状があらわれることがあります。自分はストレスによって身体面や精神面でどのような症状が表れるのかを知り、「自分流ストレス対処法」を実践し、ゼロになることのないストレスとうまく付き合っていかなければなりません。

ストレスに対して自分ではどう対処したらいいのかわからない時は、学生相談室でカウンセラーに相談してみてください。ストレス対処法と一緒に考えてくれます。学生相談室の予約は保健室で取っています。

学生相談室も保健室もみなさんの学生生活を応援しています。気軽に利用してください。

反射材エキシビション・2013での収穫

生活学科 特任准教授(非常勤) 戸田 賀志子

9月11日(一社)日本反射材普及協会主催「反射材エキシビション・2013」(於:東京芸術劇場)にリフレクローズ★4点を出品、参加した。

生活クリエイトコースでは、昨年5月より滋賀県警本部交通安全課の依頼を受け、高齢者をはじめとするすべての人々を不慮の交通事故から防ぐことを目的に反射材を用いた衣生活を提案、日常着と反射糸を組み合わせたリフレクローズを開発してきた。2012年の敬老の日に合わせて行われた反射材フェアなどの滋賀県警のイベントでは、予想を上回る反響があり、今春には本活動の一環としてリフレクローズに应用可能な反射糸ブローチ製作マニュアルも発表した。今回は、それらの活動実績が評価されての出品となった。ワンピースとTシャツの女性服2点、パーカーとカーゴパンツの男性服2点の出品であったが、男性服の出品は本校のみということもあり、来場中の内閣府をはじめとする各関係省庁、全国の警察やマスコミ関係者から作品に対する忌憚のない意見、批評を直接、聞くことができた。産・官・学共同参画で反射材の普及を図る話題もしきりで、今回の出品と併せて今後の活動に反映させていきたいと思いを新たにしたい。



★リフレクローズ:リアルクローズ(着回しのきく、現実性のある服)とリフレクション(反射)の造語

同窓会だより

運営委員 副会長 山本 幸恵



7月7日(日)短大キャンパス内にて、平成25年度同窓会総会を開催いたしました。

本年は第2期生から平成24年度卒業生の42期生まで28人の出席をいただき、議事についてはすべて承認されました。総会后恒例の実習では、製菓担当の金丸特任教授のご指導の下、イタリアのお菓子パンナコッタとバンドジェーヌを作りました。助手の芝先生や鈴木先生、現役学生のサポートのおかげで今年もなかなかの出来栄え！特に七夕バージョンの盛り付けはプロ級？！大満足でした。本当にありがとうございました。実習のあとは会場を学生食堂に移し会食と懇談会です。学長先生をはじめ奥田先生、小山内先生、木谷先生にもご出席いただき自己紹介・近況報告やビンゴゲームなど和やかな会となりました。

また、今年は滋賀短期大学となり初めて男子会員の参加があり、新しい風を感じる同窓会となりました。世代を超え滋賀短期大学で繋がった貴重なご縁です。ぜひ、1年後もお会いしましょう。



後援会だより

滋賀短期大学後援会 会長 山下 伸一



在学生のご父兄の皆様には、日頃より後援会活動にご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度の後援会会長を仰せつかりました山下伸一です。微力ではございますが、皆様のご協力とご支援をいただきながら、学生の皆さんが、充実した学生生活を過ごせるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

後援会は大学との連携の基に、大学の諸活動に対し支援させていただき、学生の方々はじめ学校全体の充実を目指して取り組んでおります。

滋賀短期大学では、教育目的を実現するために、「よい教育」を行動指針として定めて実践をされています。「明日から『できる』自分へ…一人ひとりを見つめて応援します」を合い言葉に、教職員は「わかる授業」を実践す

ること、「真剣に学生に向き合って応援」することに努めておられます。後援会としても福利厚生、就職活動支援等の通常事業に加えて、課外教育やクラブ・同好会への活動支援を積極的に進めております。

また、本年も学園祭である「純美禮祭」にも後援会として模擬店の一店に入れていただき、「炊き込みご飯コーナー」で若き学生の皆さん、大学関係者そして地域の皆さんと交流もさせていただきました。

学生の皆さんには、大学を更に魅力ある、また、地域に根ざしたキャンパスとしていくためにも、みんなでアイデアを出し合い、後援会の支援を活用していただきたいと思います。

最後になりましたが、後援会ではご父兄の皆さんのご理解とご協力をいただき、学生の皆さんが魅力あるキャンパスライフを過ごせるよう応援をしていきたいと考えておりますので、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡いただけるようお願い申し上げます。

2013年度 公開講座

教養講座 能楽への扉

広報・図書委員 特任教授 陣内 皓之祐

吉浪壽晃先生による教養講座「能楽への扉」は10月15日、台風接近による激しい雨の中、約25名の受講者を311教室に迎えて開講された。冒頭に「君のめぐみぞ、ありがたき…」と謡曲「高砂」の一節「四海波」が披露された。本年は世阿弥生誕から650年の記念すべき年とのことであり、世阿弥の生い立ちや、まだ少年の世阿弥が若き將軍足利義満の目に適うように、父の観阿弥がいかに気を配ったかなど、能の創世記のエピソードが紹介された。続いて、江戸時代には能が幕府の公式芸能として庇護され能楽師は武家として生活していたこと、「四海波」は年の初めに能楽師の代表が江戸城で奉納していた演目であること、幕政批判を含む「忠臣蔵」は能楽の演目には出来なかったことなど、近代をへて現代にいたる能楽の歴史を紹介して頂いた。次いで能の舞台である能楽堂の構造的特徴と、一般的な上演プログラム構成「五番立」（5種類の演目、神、男、女、狂、鬼が1回の公演で演じられる）を説明し

ていただき、ビデオによる縮冊版「五番立」を体験させて頂いた。休憩後には、「高砂」の一節「高砂や、この浦舟に…」の発声練習に続いて、能面と能衣装についての説明があった。十数種類の能面を見せていただいたが、どの面も風格があり見ていると引き込まれそうな深みを感じられた。最後に吉浪先生が能面と能衣装を付けられ「壇ノ浦」の義経を演じられた。演技終了後には、衣装と面とを間近に見られるように舞台前方に展示して下さり、受講生の皆さんが食い入るように能面を凝視して質問する場面が見られ、少人数ながら熱気のコもった講演会となった。



こども英語教室～Let's Enjoy Kids English～

ビジネスコミュニケーション学科 准教授 末澤 亜矢子

本年度は8月6日と7日にこども英語教室を開講致しました。小学生15名にご参加いただき、初日はからだの部位を英語で学び、2日目はお誕生日を英語で言えるように月の名前と日について学ぶことを中心とした内容でした。

はじめは緊張していたのか、皆さんもじもじとしていた様子でしたが、からだ全体を使ってリズムに合わせて大きな声で歌い、踊りながら授業を進めていくと、少しずつたくさんの笑顔に出会うことができました。この日、読み聞かせを行なった英語の絵本は「Happy Birthday, DANNY and the DINOSAUR!」という恐竜さんがダニーという男の子のお誕生日会に出席するというお話でした。ワクワクとした表情できいてくださったことが印象的でした。

2日目には皆さん打ち解けた様子で、授業前に「Hello!」と元気よく声をかけていただいたことが印象的でした。お互い助け合いながらも自身の誕生日だけは絶対に英語で言えるように覚える!という意気込みを感じ、その熱意にしっかりと応えなくてはという使命感を持って授業を進めていました。最後に行なったゲームは大変な盛り上がりみせ、「ええ～?もう終わりなの～?もう1回だけゲームをしたい!」というアンコールの声が聞けたときには、皆さんが楽しんで英語を学んでくれたことを嬉しく思いました。

2日間のこども英語教室にご参加くださった参加者、そして保護者の皆様、本当にありがとうございました。



ステップアップ講座

広報・図書委員 准教授 深尾 秀一

本年度は、「楽しく作るパンの時間 ～基本からヨーロッパ伝統パンまで（その7）～」「書道教室」、「フォトレタッチ講座（基礎）～失敗写真でも、綺麗な写真に修正～」「フォトレタッチ講座（応用）～レタッチソフトで、写真をプロ並み作品に仕上げる～」「陶芸教室 ～焼き物再発見～」「中国語教室 ～はじめて学ぶ人のための中国語入門～」の6つのステップアップ講座が開催されました。

本学の金丸特任教授による「楽しく作るパンの時間」は、思い思いの熱気があふれる調理実習室の中で講座が行われました。第1回目は“マリーアントワネットの好きだったパン”をテーマにクグロフとポテッチェ作りでした。金丸先生の軽快なトークと制作のプロセスを楽しみながら出来上がったパンに、皆さん感動しておられました。

湖陶焼長養窯の深田猛先生による「陶芸教室」では、初めての方には初歩的なところから丁寧に、再受講の方には各々の持っておられる作品イメージに沿った制作の指導をされておられました。最終日に出来上がった作品は各自納得できる作品に焼あがったようで、皆さんすぐに来年に向けて作品のイメージが膨らみ始めたようでした。

他の講座のアンケート結果においても、来年もまた受講したいというご意見が多くありました。楽しく様々なジャンルのことが学べるという事から皆様に支持を得ております当校の公開講座ですが、今後も皆様のご意見を参考に充実した講座を開催したいと考えております。

▶ 楽しく作るパンの時間

陶芸教室



滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座

広報・図書委員 特任教授 陣内 皓之祐

本学と滋賀医科大学の共催公開講座は、「高血圧」をテーマに、8月3日、本学で開催されました。講演の部には約60名の受講者が来られ、はじめに荒木久澄先生（滋賀医大腎臓内科助教）が『高血圧はなぜ悪いのか』と題して、高血圧の原因、高血圧による血管の変化、心筋梗塞や脳卒中を起こす理由などについて分かり易く解説されました。続いて、宇津貴先生（滋賀医大腎臓内科准教授）は『高血圧を防ぐ食事とは』の演題で講演され、減塩と野菜・果物の摂取がいかに高血圧の改善や脳卒中の予防に効果を上げてきたか、また、同様の特徴を備えた伝統的な日本食の優れた血圧改善効果などについて詳しく説明されました。その一方で、外食や既製食品を頻繁に利用する若年層の食生活を心配され、成人や高齢者の食事改善ばかりでなく、同様の食事改善を次世代にも引き継ぐことが必要と強調されました。

調理実習の部は、調理実習室に24人の受講生を迎えて、滋賀医大付属病院栄養治療部副部長の岩川裕美先生、本



学校法人純美禮学園 法人本部報告

平成24年度決算状況

学校法人純美禮学園の平成24年度決算は、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を得て、確定いたしましたので報告いたします。

消費収支計算書は、当該会計年度の消費収入、消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにし、貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものであります。

消費収支計算書

貸借対照表

1. 消費収入の部 単位：千円

単位：千円

科目	年度	平成24年度決算額
学生生徒等納付金		1,170,029
手数料		38,223
寄付金		5,576
補助金		426,420
資産運用収入		23,865
資産売却差額		774
事業収入		5,685
雑収入		83,863
帰属収入合計 (A)		1,754,436
基本金組入額合計 (B)	△	51,286
消費収入の部合計 (C)		1,703,150

2. 消費支出の部

人件費	1,160,852
教育研究経費	384,122
管理経費	87,906
借入金等利息	4,755
資産処分差額	1,524
徴収不能引当金繰入額	128
消費支出の部合計 (D)	1,639,287

3. 消費収支差額

収支差額 (C) - (D)	63,863
前年度繰越消費支出超過額 (△)	△ 2,028,948
翌年度繰越消費支出超過額 (△)	△ 1,965,085

科目	年度	平成24年度末
資産の部	固定資産	[4,282,554]
	有形固定資産	(3,038,931)
	土地	333,352
	建物	2,168,110
	構築物	61,322
	機器備品	203,198
	図書	268,914
	車輛	4,035
	その他の固定資産	(1,243,623)
	引当特定資産	1,242,877
	電話加入権他	746
	流動資産	[747,000]
	現金預金	587,763
	未収入金	107,275
有価証券他	51,962	
資産の部合計 (A)	5,029,554	
負債の部	固定負債	[389,538]
	長期借入金	205,390
	退職給与引当金	184,148
	流動負債	[368,049]
	短期借入金	46,680
	未払金	23,707
	前受金	276,865
	預り金	20,797
	負債の部合計 (P)	757,587
基本金 (C)	6,237,052	
消費収支差額 (G)	△ 1,965,085	
(P) + (C) + (G)	5,029,554	

滋賀短期大学教育研究充実基金 寄付報告

平成25年5月1日から平成25年10月31日までの間に滋賀短期大学教育研究充実基金に23件のご寄付を賜りました。ここにご寄付を賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、感謝の意を表します。

(順不同)

小倉浩之 様・中川童太 様・山崎祐治 様・山本孝子 様・平井康彦 様・服部 隆 様・松宮立承 様・二之宮功 様
安井健二 様・田中正行 様・榎原佳子 様・大沢廣夫 様・朝倉庄志 様・兒玉正宏 様・河嶋文康 様・宮川秀樹 様
中西春男 様・東野高浩 様・下村圭一 様・獅子善治 様・矢合正志 様・田中猛士 様・中村昌弘 様

短期大学行事等開催状況（平成25年6月～平成25年11月）

（総務課に届け出のあったものの一部を掲載しています。）

- 6月**
- 1日(土) 火曜日授業(幼Ⅱ) / MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 2日(日) 教育懇談会・ホームカミングデー
 - 3日(月) ビジネス能力検定講座
 - 5日(水) 事務連絡会議
 - 6日(木) 6月教授会 / 入試委員会 / 施設整備委員会
 - 8日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 10日(月) ビジネス能力検定講座
 - 11日(火) 入試説明会(草津)
 - 12日(水) 入試説明会(京都)
 - 13日(木) 自己点検・評価委員会 / 教育センター会議 / 教務委員会 / 学生支援委員会 / 広報・図書委員会
 - 15日(土) 水曜日授業(幼Ⅱ) / MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 17日(月) ビジネス能力検定講座 / ハラスメント対策委員会
 - 19日(水) 体育大会(於:滋賀県立体育館)
 - 20日(木) 入試説明会(本学) / 生活科会 / 幼教科会 / ビジコミ科会
 - 22日(土) 金曜日授業(幼Ⅱ) / MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 24日(月) ビジネス能力検定講座
 - 27日(木) 企画委員会
 - 29日(土) リーダーズ・トレーニング I
 - 30日(日) オープンキャンパス①
- 7月**
- 1日(月) ビジネス能力検定講座
 - 4日(木) 7月教授会
 - 6日(土) 保育内容表現発表会 / MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 7日(日) 同窓会総会
 - 11日(木) 教務委員会 / 学生支援委員会 / 広報・図書委員会
 - 13日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 14日(日) 公務員試験対策模試
 - 15日(月) 月曜日授業(海の日)
 - 16日(火) 補講日 / 自己点検・評価委員会
 - 18日(木) 水曜日授業(幼Ⅱ) / 生活科会 / 幼教科会 / ビジコミ科会
 - 20日(土) オープンキャンパス②
 - 25日(木) 自己点検・統括委員会 / 企画委員会
 - 27日(土) 前期定期試験(～8/2)
 - 28日(日) オープンキャンパス③
- 8月**
- 1日(木) 自己点検・評価委員会 / 統括委員会
 - 3日(土) 滋賀短期大学・滋賀医科大学共催公開講座 / MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 5日(月) 授業夏期休業(～9/20) / こどもの講座(陶芸・書道) / ステップアップ講座(書道) / 滋賀県立高等学校生徒を対象とする大学連続講座
 - 6日(火) こどもの講座(英語・フラワーアレンジ)
 - 7日(水) こどもの講座(英語)
 - 8日(木) AO事前面談(I期)
 - 9日(金) AO事前面談(I期) / MOS対策講座
 - 10日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座 / 入試委員会
 - 18日(日) オープンキャンパス④
 - 19日(月) 職員研修 / こどもの講座(陶芸・書道) / ステップアップ講座(書道)
 - 20日(火) 職員研修 / ステップアップ講座(パン)
 - 22日(木) 部科長会議 / 人事委員会 / 自己点検・評価委員会
 - 23日(金) ステップアップ講座(パン)
 - 24日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座
 - 26日(月) こどもの講座(陶芸・書道) / ステップアップ講座(パン・書道・フォトレタッチ基礎)
 - 28日(水) P検(準2)対策講座 / 自己点検・評価委員会
 - 29日(木) 健康診断 / 臨時教授会 / 教務委員会
 - 30日(金) AO事前面談(Ⅱ期)
 - 31日(土) AO事前面談(Ⅱ期)
- 9月**
- 2日(月) 入試委員会 / ステップアップ講座(書道・フォトレタッチ応用)
 - 3日(火) ステップアップ講座(陶芸・中国語)
 - 4日(水) ステップアップ講座(フォトレタッチ応用)
 - 5日(木) ステップアップ講座(陶芸)
- 6日(金) ステップアップ講座(フォトレタッチ応用)**
- 7日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座**
- 9日(月) ステップアップ講座(書道)**
- 10日(火) ステップアップ講座(中国語)**
- 12日(木) 9月教授会 / 学生募集委員会 / 生活科会**
- 14日(土) MOS対策講座 / ITパスポート対策講座**
- 16日(月) オープンキャンパス⑤**
- 17日(火) ステップアップ講座(陶芸・中国語)**
- 18日(水) 前期成績交付 / Ⅱ教務オリエンテーション / リーダーズ・トレーニングⅡ / 学生支援委員会 / 学生募集委員会**
- 19日(木) 前期再試験 / 幼教科会 / ビジコミ科会 / 教務委員会 / 広報・図書委員会**
- 20日(金) 第1回就職ガイダンス**
- 21日(土) 学校見学・個別相談会 / ITパスポート対策講座**
- 23日(月) 後期授業開始(秋分の日)**
- 24日(火) ステップアップ講座(陶芸・中国語)**
- 26日(木) 企画委員会 / SP委員会 / 自己点検・評価委員会**
- 28日(土) AO事前面談(Ⅲ期)**
- 29日(日) AO事前面談(Ⅲ期)**
- 10月**
- 1日(火) ステップアップ講座(中国語) / 入試委員会
 - 3日(木) 10月教授会 / 学生募集委員会 / 人事委員会 / 入試委員会
 - 5日(土) ITパスポート対策講座 / コミュニケーション検定試験対策講座
 - 8日(火) ステップアップ講座(中国語)
 - 10日(木) 教務委員会 / 学生支援委員会 / 広報・図書委員会
 - 12日(土) ITパスポート対策講座 / コミュニケーション検定試験対策講座
 - 13日(日) 留学生等日本文化研修
 - 14日(月) 月曜日授業(体育の日) / コミュニケーション検定試験対策講座
 - 15日(火) 教養講座(能楽への扉)
 - 17日(木) 防災訓練 / 生活科会 / 幼教科会 / ビジコミ科会
 - 18日(金) 教養講座(打楽器の楽しみ方)
 - 19日(土) 公務員試験対策講座
 - 21日(月) コミュニケーション検定試験対策講座
 - 22日(火) ステップアップ講座(中国語)
 - 24日(木) SP委員会 / 企画委員会
 - 26日(土) 公募制推薦入試(前期)・指定校推薦入試・専門高校対象指定校入試
 - 27日(日) 公募制推薦入試(前期)・AO入試・スポーツ特技推薦入試(Ⅰ期)・専願特別推薦入試
 - 28日(月) ビジネス能力検定講座
 - 29日(火) ステップアップ講座(中国語) / 入試委員会
 - 30日(水) 入試監査委員会
 - 31日(木) 臨時教授会 / 学生募集委員会
- 11月(予定も含む)**
- 1日(金) (午後)純美禮祭準備
 - 2日(土) 純美禮祭
 - 3日(日) 純美禮祭 / 秋のオープンキャンパス
 - 4日(月) (午前)純美禮祭後片付 / (午後)月曜日午後授業
 - 5日(火) ステップアップ講座(中国語)
 - 7日(木) 11月教授会
 - 8日(金) 綾羽高校見学受入れ
 - 9日(土) 秘書検定試験 / ビジネス能力検定講座
 - 11日(月) ビジネス能力検定講座
 - 12日(火) ステップアップ講座(中国語)
 - 14日(木) 教務委員会 / 学生支援委員会 / 広報・図書委員会
 - 15日(金) 虎姫高校見学受入れ
 - 16日(土) 医療保険請求事務実技試験 / ビジネス能力検定講座 / MOS対策講座
 - 18日(月) ビジネス能力検定講座
 - 19日(火) 石部高校見学受入れ
 - 21日(木) 生活科会 / 幼教科会 / ビジコミ科会
 - 23日(土) MOS対策講座 / 公務員試験対策講座
 - 25日(月) ビジネス能力検定講座
 - 28日(木) 企画委員会
 - 30日(土) ビジネス能力検定講座 / MOS対策講座 / 就職準備セミナー

KDKファッショングランプリコンテスト 「京都織物卸商業組合賞」を受賞して

生活学科 生活クリエイイトコース 2回生 塚本 妃斗美

今年のテーマは、「ときめき」でした。私は少し背伸びをしたいという気持ちから、大人の女性をコンセプトとしたデザインで製作に取り組みました。私にとって大人のイメージは黒、そこにレースをあしらった女性らしさを加えました。光沢のあるシルクと透け感のあるレースという素材の対比で、黒のもつ両義性を表現しました。自分がイメージしているような、流れるようになだらかなラインをあらわせず手こずった部分もありましたが、最後には納得のいく仕上がりとなり、満足しています。製作中は時間に追われ大変でしたが、夢中で作品と向き合うことができ本当に楽しかったです。学生時代のよい思い出のひとつになりました。

京都織物卸商業組合賞の受賞を家族に報告すると、大喜びしてくれたので嬉しさが倍になり、頑張った甲斐があったと思いました。今回の経験で被服製作への興味がさらに深まり、ものづくりの楽しさを改めて実感することができました。



絵本音楽CD

幼児教育保育学科 准教授 手良村 昭子

この度、絵本と音楽というコンセプトでCD制作(acqua luce project)を始めました。

第1弾はフレーベル館から出版されている「たいせつなこと」(作:マーガレット・ワイズ・ブラウン 絵:レナード・ワイズガード 訳:内田也哉子)です。

ページごとに繰り返される物語をアコースティックギターの音色で表現しました。

読み聞かせ会などのBGMにも活用できます。

手良村の研究室に置いてありますので、ご興味のある方はお声をおかけ下さい。

CDの視聴・販売もしております。

(ピースライフジャパン

<http://www.ehon-ya.com/musicpb.html>)



留学生等日本文化研修

国際交流委員 准教授 深尾 秀一

10月13日(日)留学生等日本文化研修として、学生4名が奈良法隆寺を訪れました。当日は、昨年度末でご退職されました元生活学科特任教授 佐伯行一先生が法隆寺と斑鳩神社秋大祭をご案内くださいました。日本文化にふれる充実した秋晴れの一日となりました。来年度も留学生にとって魅力あふれる研修をと考えております。



人事の異動

退職 (平成25年9月30日付)
生活学科特任助手 森 浦 麻衣子

採用 (平成25年9月17日付)
生活学科特任助手 石 井 和 宏

訃 報

第3代学長 岡野 久二名誉教授(平成4年4月1日～平成12年3月31日) 平成25年11月7日ご逝去されました。

第5代学長 板倉 安正名誉教授(平成18年4月1日～平成24年3月31日) 平成25年11月22日ご逝去されました。

ここに、謹んでお悔やみ申し上げ、追悼の意を表します。